

Salesforce の制限クイックリファレンスガイド

バージョン 34.0, Summer '15



目次

Salesforce の制限クイックリファレンスガイドの概要	1
第 1 章: Salesforce アプリケーションの制限	2
Salesforce のエディション別の機能制限	2
Salesforce のエディション別の機能制限の表	2
Expansion Pack (拡張パック) および Unlimited Apps Pack (無制限アプリケーション パック) を使用したアプリケーション制限の緩和	11
Salesforce レポートの制限	12
キャンペーンの制限	13
Chatter の制限	14
カスタム項目の制限	17
メール制限	17
Salesforce ナレッジの制限	19
選択リストの制限	21
サイトの制限	22
ワークフローと承認の制限	23
データ関連の制限	26
日付: 日付項目の有効範囲	26
インポートの制限	26
外部データのインテグレーションの制限	27
ルールの制限	28
検索の制限	30
ストレージ容量の制限	30
ファイル関連の制限	32
ファイルサイズの制限	33
ファイル共有の制限	33
Sandbox の制限	33
第 2 章: Force.com プラットフォームの制限	35
Apex ガバナ制限	35
API の制限	41
API 要求の制限	41
Chatter REST API の制限	43
Bulk API の制限	44
API クエリカーソルの制限	45
SOAP API コールの制限	45
ストリーミング API の制限	47
メール制限	48
メタデータの制限	49

SOQL と SOSL の制限 49

Visualforce の制限 54

Salesforce の制限クイックリファレンスガイドの概要

このガイドでは、一般的に参照される Salesforce の制限を取り上げています。

このガイドはすべての制限を網羅しているわけではなく、組織によっては適用されない制限もあります。すべての状況で指定されたリソースが規定の制限まで使用できるとは限りません。たとえば、負荷、パフォーマンスやその他のシステムの問題によってはその制限に達する前に使用できなくなる場合があります。また、このガイドには次の制限は含まれていません。

- Salesforce アプリケーションのユーザインターフェース要素
- Salesforce オブジェクトの項目の長さ
- デスクトップインテグレーションクライアント

第1章 Salesforce アプリケーションの制限

この章には、Salesforce の制限が記載されています。

Salesforce のエディション別の機能制限

エディション別の Salesforce 機能の制限は次のとおりです。

Salesforce のエディション別の機能制限の表

次の表には、Salesforce アプリケーションの一部の機能の制限がエディション別にまとめられています。表の後に脚注があります。この表に含まれていない機能の制限情報は、このガイドの後のセクションを確認してください。

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
アクションプラン:ToDo の最大数	なし	なし	なし	なし	75	75	75
有効なルックアップ検索条件	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。
有効な入力規則	なし	オブジェクトにつき最大20項目。	オブジェクトにつき最大20項目。	オブジェクトにつき最大20項目。	オブジェクトにつき最大100項目。	オブジェクトにつき最大500項目。	オブジェクトにつき最大100項目。
添付ファイル:[メモと添付ファイル]関連リストの添付ファイルの最大サイズ ¹	なし	添付ファイル: 25 MB。 フィードの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 25 MB。 フィードの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 25 MB。 フィードの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 25 MB。 フィードの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 25 MB。 フィードの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 25 MB。 フィードの添付ファイル: 2 GB。
カテゴリ:カテゴリおよび階層レベルのデフォルトの最大数	なし	なし	なし	なし	データカテゴリグループの100 カテゴリ	データカテゴリグループの100 カテゴリ	データカテゴリグループの100 カテゴリ

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
					リとデータカテゴリグループの階層の5レベル	リとデータカテゴリグループの階層の5レベル	リとデータカテゴリグループの階層の5レベル
カテゴリグループ:カテゴリグループのデフォルトの最大数	なし	なし	なし	なし	カテゴリグループ 5 つおよびアクティブなカテゴリグループ 3 つ	カテゴリグループ 5 つおよびアクティブなカテゴリグループ 3 つ	カテゴリグループ 5 つおよびアクティブなカテゴリグループ 3 つ
証明書: 最大証明書数	なし	なし	なし	なし	50	50	50
コンテンツ配信: 直近 24 時間あたりのデフォルトの配信帯域幅	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB
コンテンツ配信: 直近 24 時間あたりのデフォルトの配信参照カウント	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
コンテンツ配信: オンライン参照の最大ファイルサイズ	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB
コンテンツ: 最大ファイルサイズ	すべてのエディション: 2 GB - REST API によるアップロード時: 2 GB - SOAP API によるアップロード時: 38 MB - Google ドキュメント: 10 MB - Visualforce によるアップロード時: 10 MB						
コンテンツ: 最大ライブ ラリ数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
コンテンツ: 最大コンテンツドキュメント数	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
コンテンツ: 24 時間あたりのコンテンツドキュ	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	2,500

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
メントおよびバージョンの最大数 (調整可能)							
コンテンツパック:最大ファイル数	なし	50	50	50	50	50	50
カスタムアプリケーション (AppExchange で公開して投稿されている管理パッケージに含まれるカスタムアプリケーションが Salesforce エディションの制限数にカウントされることはありません。)	なし	1	1	5	10	制限なし	10
カスタム項目 (その他の制限が、活動項目、ロングテキストエリア項目、リレーション項目、積み上げ集計項目に適用されます。)	オブジェクトにつき最大 5 項目。	オブジェクトにつき最大 25 項目。	オブジェクトにつき最大 100 項目。	オブジェクトにつき最大 100 項目。	オブジェクトにつき最大 500 項目。	オブジェクトにつき最大 800 項目。	オブジェクトにつき最大 500 項目。
カスタム表示ラベル	なし	なし	なし	5,000	5,000	5,000	5,000
カスタムリンク:リンクラベルの最大長	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字
カスタムリンク:リンク URL の最大長	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²
カスタムオブジェクト	なし	5	50	50	200	2,000	400

AppExchange で公開して投稿されている管理パッケージに含まれるカスタムオブジェクトが Salesforce エディションの制限数にカウントされることはありません。

論理削除したカスタムオブジェクトとそのデータは、制限の対象に含まれます。不要なカスタムオブジェクトは物理削除または消去することをお勧めします。

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
カスタムオブジェクト: なし 主従関係の最大数		2 ³	2 ³	2 ³	2 ³	2 ³	2 ³
カスタムオブジェクト: なし 多対多のリレーション での親レコードの削除		多対多のリレーションにおいて、関連する連結オブジェクトのレコードが 200 を超えていて、かつ、他方の親オブジェクトで連結オブジェクトを対象とする積み上げ集計項目が作成されている場合は、親レコードを削除できません。					
カスタム権限	なし	なし	なし	なし	1,000	1,000	1,000
カスタムプロファイル: ユーザライセンスの種 類あたりのカスタムプ ロファイルの最大数	なし	なし	なし	なし	1,500	1,500	1,500
カスタム設定: キャッ シュデータの制限	10 MB か、 1 MB×組織 のフル ユーザラ イセンス 数のいず れか少な い容量	なし	10 MB か、 1 MB×組織 のフル ユーザラ イセンス 数のいず れか少な い容量	なし	10 MB か、 1 MB×組織 のフル ユーザラ イセンス 数のいず れか少な い容量	10 MB か、 1 MB×組織 のフル ユーザラ イセンス 数のいず れか少な い容量	10 MB か、 1 MB×組織 のフル ユーザラ イセンス 数のいず れか少な い容量
カスタム設定: カスタム 設定あたりの項目の最 大数	5	なし	100	なし	300	300	300
ディビジョン: 最大ディ ビジョン数	なし	なし	なし	100	100	100	なし
ドキュメント: カスタム アプリケーションロゴ の最大サイズ	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB
ドキュメント: アップ ロードするドキュメン トの最大サイズ	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB
ドキュメント: ファイル 名の最大長(ファイル拡 張子名を含む)	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
エンタイトルメントプロセスとマイルストーン	なし	なし	なし	なし	Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition の場合、制限は次のとおりです。 20 件のエンタイトルメントプロセス - エンタイトルメントプロセスあたり 10 件のマイルストーン エンタイトルメントプロセスおよびマイルストンの数の増加についての詳細は、Salesforce にお問い合わせください。		
外部オブジェクト ⁴	なし	なし	なし	なし	100	100	100
項目履歴管理: 標準またはカスタムオブジェクトで追跡する標準またはカスタム項目の最大数	なし	20	20	20	20	20	20
ファイル: Chatter および [ファイル] タブの最大ファイルサイズ	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB
会計年度: カスタム会計年度の最大数	250	250	250	250	250	250	250
Lightning ページ: 単一範囲内のコンポーネントの最大数	25	25	25	25	25	25	25
数式: 最大文字数	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字
数式: 数式の評価後に表示される最大文字数	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字
数式: 保存時の最大数式サイズ (バイト単位)	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト
数式: コンパイル時の最大数式サイズ (バイト単位)	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
数式:オブジェクトあたりの一意のリレーション数	10	10	10	10	10	10	10
数式:VLOOKUP 関数	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。
アイデア:HTML 形式のアイデアの説明の最大サイズ	なし	なし	なし	32 KB	32 KB	32 KB	32 KB
アイデア:HTML 形式のアイデアのコメントの最大サイズ	なし	なし	なし	4 KB	4 KB	4 KB	4 KB
主従関係:子レコードの最大数	10,000 ⁵	10,000 ⁵	10,000 ⁵	10,000 ⁵	10,000 ⁵	10,000 ⁵	10,000 ⁵
オブジェクト:削除する結合オブジェクトと子レコードの最大数	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
商談:商談チームメンバーの最大数	なし	なし	なし	なし	30	30	30
権限セット:作成される権限セットの最大数	なし	なし	なし	なし	1,000	1,000	1,000
権限セット:権限セットの最大数(インストールされた管理 AppExchange パッケージの一部として作成および追加される権限セットを含む)	なし	なし	なし	なし	1,500	1,500	1,500
質問:最大文字数	なし	なし	なし	なし	1,000	1,000	なし
質問:最大文字数(Chatter アンサーの「質問フローを最適化」が有効な場合)	なし	なし	なし	なし	32,000	32,000	なし
見積 PDF: 最大ロゴサイズ	なし	なし	なし	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
見積 PDF: ロゴの最大高さ	なし	なし	なし	150 ピクセル	150 ピクセル	150 ピクセル	150 ピクセル
ごみ箱: 最大レコード数	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍
返信: 最大文字数	なし	なし	なし	なし	1,000	1,000	なし
返信 (非公開): 最大文字数 (Chatter アンサーの「質問フローを最適化」が有効な場合)	なし	なし	なし	なし	4,000	4,000	なし
返信 (公開): 最大文字数 (Chatter アンサーの「質問フローを最適化」が有効な場合)	なし	なし	なし	なし	32,000	32,000	なし
Shared Activities	すべてのエディション: 組織で Shared Activities を有効にしている場合、最大 50 人の取引先責任者を非定期 ToDo、非グループ ToDo、および非定期的な行動に関連付けることができます。1 人の主取引先責任者を割り当てます。その他はすべて副取引先責任者になります。						
共有ルール	なし	なし	なし	Professional Edition、Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、および Developer Edition では、システム管理者はオブジェクトあたり最大 300 個の共有ルールを作成でき、その中には、最大 50 個の条件ベースのルールも含まれます。			
静的リソース	なし	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
		使用できます。	使用できます。	使用できます。	使用できます。	使用できます。	使用できます。
タブ (AppExchange で公開して投稿されている管理パッケージに含まれるカスタムタブが Salesforce エディションの制限数にカウントされることはありません。)	なし	3	5	10	25	制限なし	100
タグ	すべてのエディションで、ユーザが使用できるタグには、次のような最大数の制限があります。 - 個人タグの作成数は 500 個まで - 個人タグのレコードへの適用数は 5,000 件まで すべてのユーザを対象として、組織で持つことができるそれぞれの最大数は次のとおりです。 - 公開タグの作成数は 1,000 個まで - 公開タグのレコードへの適用数は 50,000 件まで - 個人タグと公開タグのレコードへの適用数は 5,000,000 件まで						
テリトリ-取引先割り当てルールの最大数	なし	なし	なし	なし	15	15	15
ユーザ:作成するユーザの最大数	1	5 Chatter Free ユーザ 5000 人	10 Chatter Free ユーザ 5000 人	制限なし Chatter Free ユーザ 5000 人	制限なし Chatter Free ユーザ 5000 人	制限なし Chatter Free ユーザ 5000 人	2 Chatter Free ユーザ 5000 人
Visual Workflow	なし	なし	なし	なし	Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition の場合、各フローの制限は次のとおりです。		
					50 のバージョン 2000 ステップ 各組織の制限は次のとおりです。		

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
					500 の有効なフロー 1000 の合計フロー - 一時点の待機中インタビュー数は 30,000 件 1 時間あたりに処理されるイベントは 1000 件 - フローおよびフローバージョン全体の定義済み相対アラームイベントは 20,000 件		
Web-to-ケース:24時間あたりの生成する新規ケースの最大件数	なし	なし	なし	5,000 ⁶	5,000 ⁶	5,000 ⁶	5,000 ⁶
Web-to-リード:24時間あたりの生成する新規リードの最大件数	なし	なし	なし	500 ⁶	500 ⁶	500 ⁶	500 ⁶

¹ ケース、ソリューション、キャンペーン、ToDo、または行動の [添付ファイル] 関連リストか、取引先、取引先責任者、リード、商談、またはカスタムオブジェクトの [メモ&添付ファイル] 関連リストに添付ファイルを追加できます。ToDo の関連リストまたは行動ページレイアウトが表示されない場合は、追加するようシステム管理者に依頼する必要があります。Microsoft® PowerPoint のプレゼンテーションや Excel スプレッドシートといったものから、Adobe® PDF、画像ファイル、音声ファイル、動画ファイルまで、あらゆるファイル形式をサポートします。

² データが URL のトークンと入れ替えられる場合、リンクが 3,000 バイトを超える可能性があります。使用中のブラウザによって、URL の最大長に別の制限が強制されることがあります。

³ それぞれのリレーションは、規定されているカスタム項目の最大数に計数されます。

⁴ 100 件の外部オブジェクト制限は、組織で購入する Lightning Connect アドオン数に関係なく適用されます。

⁵ ベストプラクティスとして、主従関係の子レコードは 10,000 を超えることはできません。

⁶ 組織が毎日の Web-to-ケースまたは Web-to-リードの制限数を超えた場合、デフォルトのケース所有者またはデフォルトのリード作成者にケースまたはリードの情報を含む通知メールが送信されます。組織が 24 時間の制限に達した場合は、Salesforce では Web-to-ケース要求および Web-to-リード要求の両方を含む待機中の要求のキューに追加の要求を格納します。要求は制限が更新されると提出されます。待機中の要求のキューの制限は合計 50,000 件です。組織が待機中の要求の制限に達すると、制限を超える要求は却下され、キューに入れられません。システム管理者は、提出が却下された最初の 5 件のメールに関して通知を受け取ります。組織の待機中の要求の制限を変更するには、Salesforce カスタマサポートにお問い合わせください。

Expansion Pack (拡張パック) および Unlimited Apps Pack (無制限アプリケーションパック) を使用したアプリケーション制限の緩和

組織は、Expansion Pack (拡張パック) または Unlimited Apps Pack (無制限アプリケーションパック) を使用して組織のアプリケーション関連の制限をより高く設定できます。

Professional Edition 用の Expansion Pack

Professional Edition の場合、Expansion Pack ユニットを購入して、アプリケーション、タブ、オブジェクトの制限をより高く設定できます。各 Expansion Pack ユニットは、組織のユーザライセンスに対応しています。

次の表に、Expansion Pack によってアップグレードされる制限を示します。

機能	Professional Edition	Professional Edition + Expansion Pack
カスタムアプリケーション	5	15
カスタムタブ	10	25
カスタムオブジェクト	50	200

Enterprise Edition 用の Unlimited Apps Pack

Enterprise Edition の場合、Unlimited Apps Pack ユニットを購入して、アプリケーション、タブ、オブジェクトの制限をより高く設定したり、最大 API コール数やデータストレージ容量を増やしたりできます。各 Unlimited Apps Pack ユニットは、組織のユーザライセンスに対応しています。

次の表に、Unlimited Apps Pack によってアップグレードされる制限を示します。

機能	Enterprise Edition	Enterprise Edition + Unlimited Apps Pack
カスタムアプリケーション	10	制限なし (9,999)
カスタムタブ	25	制限なし (9,999)
カスタムオブジェクト	200	2,000
API コール	ライセンスの種類によって異なります。	現在の制限 + 4,000 コール
データストレージ	20MB/ユーザまたは1GB/組織のいずれか大きい方	120 MB/ユーザまたは 1 GB/組織のいずれか大きい方

パックユニットの追加

Expansion Pack ユニットおよび Unlimited Apps Pack ユニットは、Sales Cloud、Service Cloud、Force.com、Site.com 限定ユーザが使用できます。組織は、Expansion Pack または無制限アプリケーションパックを使用して1回のみアッ

アップグレードできます。組織で、アプリケーション制限をパックによる緩和よりもさらに緩和する必要がある場合、組織のエディションをアップグレードすることをお勧めします。Expansion Pack ユニットまたは Unlimited Apps Pack ユニットを追加するには、Salesforce の担当者までお問い合わせください。

Salesforce1 レポートの制限

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
レポートあたりの項目の検索条件数 ¹	20	20	20	20	20	20	20
レポートあたりの数式	5	5	5	5	5	5	5
スケジュール済みレポート (メール送信するレポートの容量は最大 10 MB)。	なし	なし	なし	1 時間あたり 1 ² (ピーク時間以外のみ ³) (希望開始時刻は 3 個に制限され、変更はできない)	1 時間あたり 1 ²	1 時間あたり 2 ²	1 時間あたり 1 ² (ピーク時間以外のみ ³) (希望開始時刻は 3 個に制限され、変更はできない)
ダッシュボード検索条件	なし	なし	なし	1 ダッシュボードにつき 3 個	1 ダッシュボードにつき 3 個	1 ダッシュボードにつき 3 個	1 ダッシュボードにつき 3 個
動的ダッシュボード	なし	なし	なし	なし	組織あたり最大 5 つ	組織あたり最大 10	組織あたり最大 3 つ
ダッシュボードの更新のスケジュール設定	なし	なし	なし	なし	1 時間あたり 1 ²	1 時間あたり 2 ²	なし
カスタムレポートタイプ (制限は、開発状況に関係なく、すべてのカスタムレポートタイプに適用される)	なし	なし	なし	50	200	2,000	400

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
レポート作成スナップショット	なし	なし	なし	1 時間あたり ¹ 2 (ピーク時間以外のみ ³) (1 日あたり希望開始時刻は 1 個に制限され、変更はできない)	1 時間あたり ¹ 2	1 時間あたり ² 2	1 時間あたり ¹ 2 (ピーク時間以外のみ ³) (1 日あたり希望開始時刻は 1 個に制限され、変更はできない)

¹ これらの制限はレポートビルダーに適用されます。レポートウィザードを使用している場合、制限は 10 です。

² 合計で 200 まで可能。

³ ピーク時以外の時間帯とは、ローカル時間の午後 6 時 ~ 午前 3 時です。

キャンペーンの制限

使用可能なエディション: Professional Edition、Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、および Developer Edition

取引先責任者をキャンペーンに追加する

取引先責任者ソース	推奨されるキャンペーンメンバーツール	最大レコード数
既存の取引先責任者のレポート	レポートからのキャンペーンメンバーの追加	1 レポートにつき 50,000 件
既存の取引先責任者の CSV ファイル	キャンペーン更新ウィザード	1 インポートファイルにつき 50,000 件
既存の取引先責任者のリストビュー	リストビューからキャンペーンへの取引先責任者またはリードの追加	1 リストページにつき 250 件
個別の取引先責任者の詳細ページ	個々のキャンペーンメンバーの追加、編集、またはコピー	1

リードをキャンペーンに追加する

リードソース	推奨されるキャンペーンメンバーツール	最大レコード数
既存のリードのレポート	レポートからのキャンペーンメンバーの追加	1 レポートにつき 50,000 件
新規リード一覧の CSV ファイル	キャンペーンでのリードインポートウィザードの使用	1 インポートファイルにつき 50,000 件
既存のリードのリストビュー	リストビューからキャンペーンへの取引先責任者またはリードの追加	1 リストページにつき 250 件
個別のリードの詳細ページ	個々のキャンペーンメンバーの追加、編集、またはコピー	1

キャンペーン影響期間

キャンペーン影響期間条件は、最大 9,999 日です。

キャンペーン階層

階層には、最大 5 レベルを含めることができます。各キャンペーンに対して設定できる親キャンペーンは 1 つだけですが、子キャンペーンの数は無制限です。

Chatter の制限

機能	制限
グループ	
ユーザが参加可能なグループ	100 ¹ アーカイブ済みグループは、この制限にカウントされません。
組織内のグループ	10,000 アーカイブ済みグループは、この制限にカウントされません。
グループのメンバー	制限なし
グループの情報項目の文字数	4000
メールでグループに投稿する場合のメールの最大サイズ(テキストと添付ファイルを含む)	25 MB

エディション

使用可能なエディション:
Group Edition、
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、**Contact Manager** Edition、および
Developer Edition

機能	制限
メールでグループに投稿する場合に含めることのできる添付ファイル数	25
フィード	
1つの投稿またはコメント内のメンション	25
メンション検索文字列の文字数	ユーザの姓と名 (合計) またはグループ名は 500 文字
1つの投稿またはコメント内の文字数	5,000
投稿に対していいね! と言ったか、コメントした後に送信されるメール通知の件数	10
ブックマーク	制限なし
お気に入り	50
フォローできる人、トピック、およびレコード	500 ²
任意の時点でフィードに表示できる投稿の最大数	500件の最新の投稿。この制限は、プロフィール、グループ、レコードフィードには適用されません。
ファイル	
ファイル添付サイズ	2 GB
ファイルを共有できる回数	100
人とプロフィール	
プロフィール写真のサイズ	8 MB
チャットに追加できるユーザ数	10
チャットの[私のお気に入り]に追加できるユーザ数	100
Chatter メッセージの文字数	10,000
スキル	
ユーザに割り当てられるスキル数	100
スキル名の文字数	99
トピック	
1つの投稿でのトピック数	10
単一レコードのトピック	100
トピック名の文字数	99

¹アーカイブ済みグループを除く、すべてのChatterグループがこの制限にカウントされます。たとえば、100グループ(そのうち10グループはアーカイブ済み)のメンバーになっている場合、さらに10グループに参加できます。

²合計で最大500の人、トピック、およびレコードをフォローできます。自分が何件の項目をフォローしているかを確認するには、プロフィールの[フォローしている人]リストを表示します。

Chatter Plus 機能	制限
組織の Chatter Plus ライセンス	制限なし
Chatter Plus ユーザあたりのデータストレージ	20 MB
Chatter Plus ユーザあたりのファイルストレージ	612 MB

Chatterでのユーザによる投稿とコメントは、顧客の該当する組織がプロビジョニングされている間はずっと保持されます。salesforce.com は次の制限を適用する権利を有します。

- システムで生成されるフィード更新追跡数。現在追跡されているフィード更新のうち、46日以上前のもので、いいね!もコメントもない更新は、自動的に削除されます。そのフィード更新追跡はフィードに表示されなくなります。ただし、項目追跡の監査が有効な場合、その項目の監査履歴は引き続き使用できます。
- 1組織が1時間あたりに送信できるメール通知の数。

これらの制限は変更される場合があります。詳細は、Salesforce にお問い合わせください。

Chatter のファイル検索の制限

検索では、複数のファイルの種類がサポートされ、ファイルサイズに制限があります。ファイルが最大サイズを超える場合、そのファイル内のテキストは検索されませんが、ファイルの名前、説明、種類、および所有者は検索されます。

ファイルの種類	ファイル拡張子	ファイル内のテキストを検索可能にする場合の最大ファイルサイズ
HTML	.htm、.html、.xhtml	5 MB
PDF	.pdf	25 MB
PPT	.ppt、.pptx、.pptm	25 MB
RTF	.rtf	5 MB
テキスト	.c、.cpp、.css、.csv、.ini、.java、.log、.sql、.txt	5 MB
Word	.doc、.docx、.docm	25 MB
XLS	.xls、.xlsx、.xlsm	5 MB
XML	.xml	5 MB

カスタム項目の制限

使用可能なエディション: すべてのエディション

標準項目とページレイアウトは、Database.com では利用できません。

オブジェクトあたりの使用できるカスタム項目数は、Salesforce のエディションによって異なります。活動項目、ロングテキストエリア項目、リッチテキストエリア項目、リレーション項目、および積み上げ集計項目の最大数も同様に異なります。次の表に、各カスタム項目のデータ型およびエディションの最大制限を示します。

カスタム項目の制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
活動	なし	なし	なし	20	100	100	100
ロングテキストエリア項目	項目のデータ型に関係なく、オブジェクトに許可されるカスタム項目の合計数に関するエディションの制限は適用されますが、オブジェクトには、リッチテキストエリア項目やロングテキストエリア項目を無制限に含めることができます。各オブジェクトは、ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目で合計 160 万文字を使用できます。ロングテキストエリア項目またはリッチテキストエリア項目を作成するとき、項目の文字数制限、つまり入力可能なテキストの最大長を設定します。ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目のデフォルトの文字数制限は、32,768 文字 (32 KB) です。ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目の最大文字数制限は、131,072 文字 (128 KB) です。最小文字数制限は 256 文字です。リッチテキストエリア項目にアップロードできる画像の最大サイズは 1 MB です。						
リッチテキストエリア項目							
リレーション項目	なし	40	40	40	40	40	40
積み上げ集計項目	なし	10	10	10	10	10	10

メール制限

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
メールテンプレート: 最大サイズ	テキストメールテンプレート: 384 KB	- テキスト、HTML、およびカスタム HTML テンプレート: 384 KB - Visualforce テンプレート: 1 MB					

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
Salesforce に送信される受信メール	すべてのエディション: - メール本文切り捨てサイズ: 32 KB - 受信したメールごとに作成されるメール活動の最大数: 50 1つの添付ファイルの最大サイズ: 5 MB - 添付ファイルの最大合計サイズ: 25 MB¹						
メールサービス: Salesforce で処理する 1 日あたりのメールメッセージの最大数	なし	なし	なし	ユーザライセンス数 × 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数 × 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数 × 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数 × 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000
メールサービス:メールメッセージの最大サイズ(メールヘッダー、本文、添付ファイル、エンコードを含む)	なし	なし	なし	25 MB ¹	25 MB ¹	25 MB ¹	25 MB ¹
メール-to-ケース: ケースに変換する 1 日あたりのメールの最大数	なし	なし	なし	2,500	2,500	2,500	2,500
拡張差し込み印刷:最大レコード数	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
拡張差し込み印刷:選択したテンプレートの最大合計サイズ	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB
差し込み項目: Case.Email_Thread	なし	なし	Group Edition、Professional Edition、Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition の場合: - 最大メール数: 200 - メール本文切り捨てサイズ: 32 KB				
オンデマンドメール-to-ケース:メールの最大サイズ(メールヘッダー、本文、添付ファイル、エンコードを含む)	なし	なし	なし	25 MB ¹	25 MB ¹	25 MB ¹	25 MB ¹

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
オンデマンドメール-to-ケース:Salesforce で処理する 1 日あたりのメールメッセージの最大数 (メールサービスの制限に対してカウントする)	なし	なし	なし	ユーザライセンス数× 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数× 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数× 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数× 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000

¹メールサービスのメールメッセージの最大数は、言語および文字セットによって異なります。メールメッセージのサイズには、メールヘッダー、本文、添付ファイル、エンコードが含まれます。そのため、添付ファイルが 25 MB のメールは、ヘッダー、本文、エンコードのサイズを考慮すると、メールメッセージの合計サイズ制限 25 MB を超える可能性があります。

送信メールの制限の詳細は、「[メール制限](#)」を参照してください。

Salesforce ナレッジの制限

Salesforce ナレッジの制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
最大記事数	なし	なし	なし	なし	50,000 個の記事		
最大記事タイプ	なし	なし	なし	なし	100 個の記事タイプ		
記事タイプあたりの最大カスタム項目数	なし	なし	なし	なし	記事タイプあたり 500 個のカスタム項目		
最大ファイル項目	なし	なし	なし	なし	5 個のファイル項目		
最大ファイル項目サイズ	なし	なし	なし	なし	ファイル項目は添付ファイルとしてカウントされません。最大 25 MB です。		
最大リッチテキストエリアサイズ	なし	なし	なし	なし	32 KB		

エディション

Salesforce ナレッジを使用可能なエディション:

Performance Edition および **Developer Edition**

有料オプションで Salesforce ナレッジを使用可能なエディション:

Enterprise Edition および **Unlimited Edition**

Salesforce ナレッジの制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
リッチテキストエリア項目での一意の最大記事参照 (リンク) 数	なし	なし	なし	なし	1つのリッチテキスト項目で、異なる Salesforce ナレッジ記事に最大 100 個のリンクを設定できます。		
記事履歴の追跡	なし	なし	なし	なし	記事イベントは、18 か月まで追跡されます。		
最大サポート言語数	なし	なし	なし	なし	16 個のサポート言語		
記事のインポート	なし	なし	なし	なし	インポート .zip ファイルは次の要件を満たす必要があります。 • .csv ファイルと .properties ファイルをそれぞれ 1 つのみ含むことができる。 • .csv ファイルと .properties ファイルがルートディレクトリに配置されている必要がある。 • 圧縮プロセスでフォルダとサブフォルダの構造を維持する必要がある。 • .zip ファイル名に特殊文字は使用できない。 • .zip ファイルが 20 MB を超えていないこと。非圧縮ファイルが 100 MB を超えていないこと。 • ヘッダー行を含め .csv ファイルに 10,000 を超える行を含めることはできません。したがって、最大 9,999 個の記事と翻訳を含めることができます。 • .csv ファイルの行が 400,000 文字を超えることはできません。 • .csv ファイルのセルが 32 KB を超えることはできません。 • .csv ファイルの各記事に 50 以上の翻訳を含めることはできません。		

Salesforce ナレッジの制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
最大データカテゴリグループ数および有効なデータカテゴリグループ	なし	なし	なし	なし	カテゴリグループ5つおよびアクティブなカテゴリグループ3つ		
データカテゴリグループあたりの最大カテゴリ数	なし	なし	なし	なし	データカテゴリグループに100個のカテゴリ		
データカテゴリグループ階層あたりの最大レベル数	なし	なし	なし	なし	データカテゴリグループ階層に5個のレベル		
記事に割り当てられたデータカテゴリグループの最大データカテゴリ数	なし	なし	なし	なし	記事に割り当てられたデータカテゴリグループの8個のデータカテゴリ		
昇格済み検索語の最大数	なし	なし	なし	なし	組織で最大2,000個の昇格済み用語を作成できます。		

選択リストの制限

使用可能なエディション: すべてのエディション

標準選択リストは、Database.com では使用できません。

選択リスト内の最大エン트리数は、選択リストに許容される合計文字数 (15,000 文字) によって決まります。各エン 트리には、非表示の改行と復帰の記号が含まれます。エン 트리ごとに追加されるこの2文字も、15,000 文字の制限に数えられます。

標準選択リストのその他の制限

標準選択リストの場合、エン 트리には改行と復帰を除く最大40文字を含めることができます。標準複数選択リストでは、すべてのエン トリの合計文字数は255文字を超えることはできません。

レコードタイプまたはトランスレーションワークベンチを使用する組織の標準選択リストの場合、特殊な選択リストの次の例外を除き、エントリ数に制限はありません。

選択リスト項目	最大エントリ数
リード状況	100
ToDo の状況	100
ToDo の優先度	50
ケースの状況	100
ケース優先度	50
商談フェーズ	100

カスタム選択リストのその他の制限

合計 15,000 文字の範囲内で、カスタム選択リストには次の制限があります。

- 最大 1,000 個のエントリ
- エントリあたり最大 255 文字

複数選択のカスタム選択リストの場合は次のようになります。

- 最大 150 個の値
- 値あたり最大 40 文字

複数選択リストの場合、ユーザは 1 レコードに対し一度に最大 100 個の値を選択できます。

サイトの制限

使用可能なエディション: **Developer** Edition、**Enterprise** Edition、**Performance** Edition、**Unlimited** Edition

エディション	最大サイト数	帯域幅制限 (直近の 24 時間/サイトあたり)	サービス要求時間 (直近の 24 時間/サイトあたり)	最大ページビュー
Developer Edition	1	500 MB	10 分	なし
Enterprise Edition	25	Sandbox 1 GB 本番 40 GB	Sandbox 30 分 本番 60 時間	500,000
Unlimited Edition	25	Sandbox 1 GB 本番 40 GB	Sandbox 30 分 本番 60 時間	1,000,000
Performance Edition				

ワークフローと承認の制限

ワークフローと承認の制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
承認プロセス	なし	なし	なし	組織ごとに次の制限があります。 1,000 個の承認プロセス - オブジェクトあたり 300 個の承認プロセス 各承認プロセスの制限は、次のとおりです。 30 ステップ - ステップあたり 25 個 (人) の承認 - 最大 40 個の申請時のアクション - 最大 40 個の最終承認時のアクション - 最大 40 個の最終却下時のアクション - 最大 40 個の取り消し時のアクション 申請時、最終承認時、最終却下時、および取り消し時のアクションのセットごとの制限は、次のとおりです。 - 最大 10 回のメールアラート - 最大 10 件の ToDo - 最大 10 項目の更新 - 最大 10 件のアウトバウンドメッセージ			
承認申請コメント: 最大文字数	なし	なし	なし	承認申請のコメントは 4,000 文字に制限されています。中国語、日本語、または韓国語の場合は 1,333 文字に制限されます。			
ワークフロールール	なし	なし	なし	ワークフロールールごとに次の制限があります。 最大 10 回のトリガ			

エディション

承認を使用可能なエディション: **Professional Edition**、**Enterprise Edition**、**Performance Edition**、**Unlimited Edition**、および **Developer Edition**

ワークフローを使用可能なエディション:

Professional Edition、**Enterprise Edition**、**Performance Edition**、**Unlimited Edition**、**Developer Edition**、および **Database.com Edition**

ワークフロー ToDo、メールアラート、およびフロートリガは

Database.com Edition では利用できません。

ワークフローと承認の制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
				- 最大 40 回のルール適用時のアクション - タイムトリガごとの最大 40 回の時間ベースのアクション ルール適用時のアクションと各タイムトリガの制限は、次のとおりです。 - 最大 10 回のメールアラート - 最大 10 件の ToDo - 最大 10 項目の更新 - 最大 10 件のアウトバウンドメッセージ - 最大 10 件のフロートリガ¹			
1時間のワークフロータイムトリガ	なし	なし	なし	250	500	50	1,000
フロートリガ ² ワークフローアクション: フロー変数の割り当て	なし	なし	なし	なし	25	25	25
1日あたりのワークフローメール	なし	なし	なし	標準 Salesforce ライセンスにつき 1,000 件 1 組織につき 2,000,000 件	標準 Salesforce ライセンスにつき 1,000 件 1 組織につき 2,000,000 件	標準 Salesforce ライセンスにつき 15 件 1 組織につき 2,000,000 件	標準 Salesforce ライセンスにつき 1,000 件 1 組織につき 2,000,000 件

¹ 以前にパイロットプログラムで使用できたフロートリガワークフローアクションは、Process Builder に置き換えられました。フロートリガワークフローアクションを使用している組織は、引き続き作成および編集できますが、新しい組織ではフロートリガワークフローアクションを使用できません。組織での Process Builder の有効化については、Salesforce にお問い合わせください。

ワークフローアラートメール: 日次ワークフローのアラートメール制限

メールアラートから送信されるメールの 1 日の制限は、1 組織につき標準 Salesforce ライセンスあたり 1,000 件です。これは、標準 Salesforce ライセンスあたりの 1 日のワークフローメールの制限が 15 件である、無料の Developer

Edition およびトライアル組織を除きます。組織全体での制限は 2,000,000 です。この制限は、ワークフロールール、承認プロセス、フローまたは REST API でメールアラートから送信されるメールに適用されます。

組織の制限に到達すると、日次ワークフローメールの制限は次のようになります。

- ワークフローキュー内に残っており、その日に送信されないメールは破棄されます。Salesforce ではこれらのメールを後で再送信しません。
- アクションを伴うワークフロールールとメールアラートが起動された場合、メールアクションのみがブロックされます。
- 最終承認、最終却下、承認、却下、メール取り消しアクションはブロックされます。
- エラーメッセージがデバッグログに追加されます。

次の項目は、ワークフローメール制限にはカウントされません。

- 承認通知メール
- ToDo 割り当て通知
- リードの割り当てルール通知
- ケースの割り当てルール通知
- ケースのエスカレーションルール通知
- Force.com サイトの利用状況のアラート

制限は、GMT の午前 0 時に開始および終了する 24 時間の活動に基づいています。ユーザライセンスを追加または削除すると、制限数の合計がすぐに調整されます。メールアラートをグループに送信すると、そのグループのすべての受信者が 1 日あたりのワークフローメール制限としてカウントされます。

ワークフローメールアラートが特定の制限に近づいている場合や制限を超えた場合、Salesforce は警告メールをデフォルトのワークフローユーザに送信します。デフォルトのワークフローユーザが設定されていない場合は、有効なシステム管理者に送信します。

状況	Salesforce から送信される警告メール	警告メールの内容
1 件のメールの受信者数の制限を超えているため、メールアラートが送信されない	未送信メールアラートごとに 1 件の警告メール	未送信メールアラートのコンテンツおよび受信者
組織の 1 日あたりのメール制限の 90% に達している	1 件の警告メール	制限および組織の利用状況
組織の 1 日あたりのワークフローメール制限の 90% に達している	1 件の警告メール	制限および組織の利用状況
組織の 1 日あたりのメール制限に達しているため、メールアラートが送信されない	制限を超えたメールアラートの試行 100 件ごとに 1 件の警告メール	制限および組織の利用状況
組織の 1 日あたりのワークフローメール制限に達しているため、メールアラートが送信されない	制限を超えたメールアラートの試行 100 件ごとに 1 件の警告メール	制限および組織の利用状況

データ関連の制限

Salesforce に保存されるデータに関連する制限は次のとおりです。

日付: 日付項目の有効範囲

特定の範囲内の日付のみが有効です。最も早い有効な日付は 1700-01-01T00:00:00Z GMT、つまり、1700 年 1 月 1 日の午前 0 時です。有効な日付の最大値は 4000-12-31T00:00:00Z GMT、つまり、4000 年 12 月 31 日の午前 0 時です。これらの値は、タイムゾーンごとのオフセットとなります。たとえば、太平洋タイムゾーンでは、最も早い有効な日付は 1699-12-31T16:00:00、つまり 1699 年 12 月 31 日の午後 4 時です。

インポートの制限

次の表は、レコードタイプ別のインポートの制限と、インポートに必要な権限の一覧です。

レコードタイプ	インポートレコードの件数制限	アクセスを許可されるユーザ
自分が所有する法人取引先と取引先責任者	一度に 500 件	すべてのユーザ
別のユーザが所有する法人取引先と取引先責任者	一度に 50,000 件	管理者、 「すべてのデータの編集」権限を持つユーザ
自分が所有する個人取引先	一度に 50,000 件	すべてのユーザ
別のユーザが所有する個人取引先	一度に 50,000 件	管理者、 「個人取引先のインポート」権限を持つユーザ
リード	一度に 50,000 件	管理者、 リードの「参照」、「作成」および「編集」および「リードのインポート」権限を持つユーザ
キャンペーンメンバー	新規キャンペーンメンバーとしてインポートできるリードおよび既存のキャンペーンメンバー状況の更新 50,000 件	管理者、 マーケティングユーザ(または「リードのインポート」権限、およびキャンペーンに対する「編集」権限を持つユーザ)は、新

エディション

使用しているエディションによって、インポートできるオブジェクトの種類が異なります。

レコードタイプ	インポートレコードの件数制限	アクセスを許可されるユーザ
		規リードをキャンペーンメンバーとしてインポートできます。キャンペーン更新ウィザードを使用して既存のリードと取引先責任者をキャンペーンメンバーにするには、取引先責任者に対する「参照」権限も必要です。
カスタムオブジェクト	一度に 50,000 件	管理者、 「すべてのデータの編集」権限を持つユーザ
ソリューション	一度に 50,000 件	管理者、 「ソリューションのインポート」権限を持つユーザ
納入商品 ケース キャンペーン 契約 ドキュメント 商談 商品	これらのレコードは、インポートウィザードでインポートできません。	

 **メモ:** インポートファイルのサイズは 100MB を超えることはできません。ファイルの各レコードは 400KB を超えることはできません。また、インポートされるメモと説明はそれぞれ、32KB を超えることはできません。32KB より長い説明は切り捨てられます。

外部データのインテグレーションの制限

Lightning Connect 外部オブジェクトおよび外部データソースにはいくつかの制限が適用されます。

Lightning Connect — すべてのアダプタ

ユーザごとに、オブジェクト権限を付与する外部オブジェクトの最大数は、ユーザがアクセスを許可されているカスタムオブジェクトの最大数と同じになります。この制限は、ユーザに割り当てられたユーザライセンスによって決まります。

組織あたりの外部オブジェクトの最大数¹

100

外部オブジェクトとその他の種別のオブジェクト全体でのクエリあたりの結合の最大 4 数

外部システムから発行される OAuth トークンの最大長	1,020 文字
------------------------------	----------

¹ 100 件の外部オブジェクト制限は、組織で購入する Lightning Connect アドオン数に関係なく適用されます。

Lightning Connect — OData 2.0 アダプタ

組織には次の制限があります。

- Enterprise Edition、Performance Edition、および Unlimited Edition では、1 時間あたり 10,000 個の OData クエリ。要求に応じて制限を緩和できます。
- Developer Edition では、1 時間あたり 1,000 個の OData クエリ。

OData の最大 HTTP 要求サイズ	8 MB
OData の最大 HTTP 応答サイズ	8 MB
OData クエリの最大結果セットサイズ	16 MB
OData サブクエリの最大結果セットサイズ	1,000 行
1 外部データソースにつき 1 時間あたりに取得される新しい行の最大数 (この制限は、大量データの外部データソースまたは以前に取得されていない行には適用されません)。	50,000

Lightning Connect — カスタムアダプタ

Apex データ型の制限:

- Double — 18 桁を超える値の精度は失われます。そのような精度を維持するには、double の代わりに decimal を使用します。
- String — 最大文字数は 255 文字です。

ルールの制限

Salesforce エディションによって、さまざまな種類のルールに制限がある場合があります。次の表に、各エディションに対する制限を示します。

制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition
有効なルール	利用不可	利用不可	利用不可	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。

制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition	Performance Edition
(制限は、有効なワークフロールール、割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルールの任意の組み合わせに適用されます。)								
許可されたルール数合計 (制限は、有効または無効両方のワークフロールール、割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルールの任意の組み合わせに適用されます。)	利用不可	利用不可	利用不可	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件。	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件。	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件。	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件。	
割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルール	利用不可	利用不可	利用不可	Professional Edition、Enterprise Edition、Developer Edition、Unlimited Edition、Performance Edition の場合、それぞれの割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルールの制限は次のとおりです。 3,000 件のエントリ 300 件の数式条件エントリ				

制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Ultimate Edition
シヨール				• エントリごとに 25 件の検索条件			
ルールあたりの使用できるアクションの合計	利用不可	利用不可	利用不可	200	200	200	200

検索の制限

使用可能なエディション: Database.com を除くすべてのエディション

ドキュメント検索では、次のファイル拡張子と最大ファイルサイズがサポートされています。

ファイルの種類	ファイル拡張子	最大サイズ
HTML (<body> タグ内のテキストのみ)	.htm、.html、.xhtml	5 MB
PDF	.pdf	25 MB
PPT	.pot、.pps、.ppt	25 MB
RTF	.rtf	5 MB
テキスト	.c、.cpp、.css、.csv、.ini、.java、.log、.sql、.txt	5 MB
Word	.doc、.dot	25 MB
XLS	.xls、.xlt	5 MB、または最大 100,000 セル
XML	.xml	5 MB

 **メモ:** 最大サイズを超えるドキュメントの内容は検索できません。ただし、ドキュメント項目は検索されます。最初の 100 万文字のみが検索されます。この制限以降のテキストは検索に含まれません。

ストレージ容量の制限

ストレージ容量

ストレージは、ファイルストレージとデータストレージの2つに分類されます。ファイルストレージには、添付ファイル、[ドキュメント] タブ、[ファイル] タブ、[ファイル] 項目、Salesforce CRM Content、Chatter (ユーザの写

真を含む)、および Site.com のアセット内のファイルが含まれます。データストレージには、次の情報が含まれます。

- 取引先
- 記事タイプ (形式: 「記事タイプ名」)
- 記事タイプ翻訳 (形式: 「記事タイプ名」 バージョン)
- キャンペーン
- キャンペーンメンバー
- ケース
- ケースチーム
- 取引先責任者
- 契約
- カスタムオブジェクト
- メールメッセージ
- 行動
- 予測項目
- Google ドキュメント
- アイデア
- リード
- メモ
- 商談
- 商談分割
- 注文
- 見積
- 見積テンプレートのリッチテキストデータ
- ソリューション
- タグ: 固有タグ
- ToDo

ファイルストレージの場合、Contact Manager Edition、Group Edition、Professional Edition、Enterprise Edition、Performance Edition、および Unlimited Edition では、ユーザあたりの制限に組織のユーザ数を掛けて、組織単位の割り当てを追加したストレージ容量が割り当てられます。たとえば、600 人のユーザがいる Enterprise Edition 組織の場合は、ユーザあたりのストレージ容量 $2 \text{ GB} \times \text{ユーザ数 } 600 + 11 \text{ GB} = 1,211 \text{ GB}$ のファイルストレージが割り当てられることになります。600 人のユーザがいる Professional Edition 組織の場合は、ユーザあたりのストレージ容量 $612 \text{ MB} \times \text{ユーザ数 } 600 + 11 \text{ GB} = 370 \text{ GB}$ のファイルストレージが割り当てられることになります。

データストレージの場合、Contact Manager Edition、Group Edition、Professional Edition、Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition では、ユーザあたりの制限または 1 GB のいずれか大きい方が割り当てられます。たとえば、10 人のユーザがいる Professional Edition 組織の場合は、ユーザ数 $10 \times 20 \text{ MB} = 200 \text{ MB}$ は最小量 1 GB よりも少ないため、1 GB が割り当てられます。100 人のユーザがいる Professional Edition 組織の場合は、ユーザ数 $100 \times 20 \text{ MB} = 2,000 \text{ MB}$ であるため、最小量 1 GB よりも多くの容量が割り当てられます。

ファイルストレージとデータストレージは同時に計算されないため、大量のレコードやファイルをインポートまたは追加する場合、組織のディスク使用量はすぐには更新されません。

以下の [ユーザライセンスあたりのストレージ割り当て] 列の値が Salesforce と Salesforce Platform ユーザライセンスに適用されます。コミュニティユーザライセンスなど、他の標準ユーザライセンスには、追加ストレージが含まれます。ユーザライセンスについての説明は、「ユーザライセンスの概要」を参照してください。カスタムユーザライセンスを使用している組織の場合、追加ストレージが提供されるかどうかについては、Salesforce までお問い合わせください。

Salesforce のエディション	組織あたりの最小データストレージ	ユーザライセンスあたりのデータストレージ割り当て	組織あたりのファイルストレージ割り当て	ユーザライセンスあたりのファイルストレージ割り当て
Contact Manager	1 GB	20 MB	11 GB	612 MB
Group	1 GB	20 MB	11 GB	612 MB
Professional	1 GB	20 MB	11 GB	612 MB
Enterprise	1 GB	20 MB	11 GB	2 GB
Performance	1 GB	120 MB	11 GB	2 GB
Unlimited	1 GB	120 MB	11 GB	2 GB
Developer	5 MB	なし	20 MB	なし
Personal	20 MB (約 10,000 レコード)	なし	20 MB	なし

 **メモ:** 追加ストレージを提供している唯一の機能ライセンスは、Salesforce CRM Content ユーザです。Salesforce CRM Content が有効であるかどうかにかかわらず、各 Salesforce CRM Content ユーザライセンスに追加のファイルストレージ 512 MB が割り当てられ、ユーザあたりのファイルストレージの割り当ての合計は 612 MB になります。組織で Salesforce CRM Content が有効であるかどうかを確認するには、システム管理者にお問い合わせください。

ファイル関連の制限

Salesforce に保存されるファイルに関連する制限は次のとおりです。

ファイルサイズの制限

Salesforce のファイルの最大ファイルサイズ制限は次のとおりです。

機能	[ファイル] タブと Chatter	Salesforce CRM Content	Salesforce ナレッジ	[ドキュメン ト] タブ	[添付ファイ ル] 関連リ スト
最大ファ イルサイ ズ	2 GB	2 GB - REST API による アップ ロード 時: 2 GB - SOAP API による アップ ロード 時: 38 MB - Google ド キュメン ト: 10 MB - Visualforce による アップ ロード 時: 10 MB	添付ファイ ル: 5 MB	5 MB - カスタム アプリ ケーショ ンロゴ: 20 KB	- 添付ファ イル: 25 MB - フィード の添付 ファイ ル: 2 GB

エディション

使用可能なエディション:
Contact Manager Edition、
Group Edition、
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、および
Developer Edition

ファイル共有の制限

ファイルは最大100回まで共有できます。これには、人およびグループと共有するファイル、およびリンクで共有するファイルが含まれます。ファイルの非公開での共有が最大共有回数の100に近くなった場合は、ファイルをフィードに投稿して公開することを検討します。

Sandbox の制限

- Full Sandbox は、作成または最終更新から 29 日経過すると更新できます。29 日以内に Full Sandbox を削除した場合、置き換えるまでに、最終更新日または作成日から 29 日間待機する必要があります。
- Partial Copy Sandbox は、作成または最終更新から 5 日経過すると更新できます。5 日以内に Partial Copy Sandbox を削除した場合、置き換えるまでに、最終更新日または作成日から 5 日間待機する必要があります。

エディション

使用可能なエディション:
Contact Manager Edition、
Group Edition、
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、および
Developer Edition

- Developer または Developer Pro Sandbox は、1 日に 1 回更新できます。
- Enterprise Edition には、1 つの Developer Sandbox のライセンスが含まれています。
- Performance Edition には、1 つの Full Sandbox、1 つの Partial Copy Sandbox、5 つの Developer Pro Sandbox、30 個の Developer Sandbox のライセンスが含まれています。
- Unlimited Edition には、1 つの Full Sandbox、5 つの Developer Pro Sandbox、15 個の Developer Sandbox のライセンスが含まれています。
- さらに多くの Sandbox のライセンスが必要な場合は、salesforce.com に連絡して、組織で使用する Sandbox を注文してください。

Sandbox のディスク使用制限

- Partial Copy Sandbox には、5 GB のファイルストレージ制限と 5 GB のデータストレージ制限があります。
- Developer Pro Sandbox には、1 GB のファイルストレージ制限と 1 GB のデータストレージ制限があります。
- Developer Sandbox には、200 MB のファイルストレージ制限と 200 MB のデータストレージ制限があります。
- Full Sandbox のディスク使用制限は、本番組織の制限と同じです。
- Sandbox は、ディスク使用制限に達してもメール通知を送信しません。ただし、Sandbox のディスク使用制限に達すると、Sandbox に新しいデータを保存することはできません。ディスク使用制限を確認するには、Sandbox で [設定] から [データの管理] > [組織のディスク使用量] をクリックします。

第 2 章 Force.com プラットフォームの制限

この章には、Force.com プラットフォームの制限が記載されています。

Apex ガバナ制限

使用可能なエディション: **Enterprise Edition**、**Performance Edition**、**Unlimited Edition**、**Developer Edition**、および **Database.com Edition**

Apex はマルチテナント環境で実行するため、Apex ランタイムエンジンは、回避 Apex が共有リソースを独占しないようさまざまな制限事項を強制します。

トランザクション単位の Apex 制限

これらの制限は、Apex トランザクション単位でカウントされます。Apex の一括処理の場合、これらの制限は `execute` メソッドでレコードのバッチの実行ごとにリセットされます。

次の表では、同期 Apex と非同期 Apex (Apex の一括処理と `future` メソッド) が異なる場合、それぞれの制限を記載しています。制限が同じ場合、表には、同期および非同期 Apex の両方に適用される 1 つの制限のみが記載されます。

説明	同期 Apex の制限	非同期 Apex の制限
発行される SOQL クエリの合計数 ¹ (この制限はカスタムメタデータ型には適用されません。1 つの Apex トランザクション内で、カスタムメタデータレコードの SOQL クエリは無制限です)。	100	200
SOQL クエリによって取得されるレコードの合計数	50,000	
<code>Database.getQueryLocator</code> によって取得されるレコードの合計数	10,000	
発行される SOSL クエリの合計数	20	
1 つの SOSL クエリによって取得されるレコードの合計数	2,000	
発行される DML ステートメントの合計数 ²	150	
DML ステートメント、 <code>Approval.process</code> 、または <code>database.emptyRecycleBin</code> の結果として処理されるレコードの合計数	10,000	
<code>insert</code> 、 <code>update</code> 、または <code>delete</code> ステートメントによって繰り返しトリガする Apex 呼び出しのスタックの深さの合計 ³	16	

説明	同期 Apex の制限	非同期 Apex の制限
トランザクション内のコールアウト (HTTP 要求または Web サービスコール) の合計数		100
トランザクション内のすべてのコールアウト (HTTP 要求または Web サービスコール) の最大タイムアウト値		120 秒
Apex 呼び出し 1 回につき許可される future アノテーションを持つメソッドの最大数		50
System.enqueueJob によってキューに追加される Apex ジョブの最大数		50
許可される sendEmail メソッドの合計数		10
ヒープの合計サイズ ⁴	6 MB	12 MB
Salesforce サーバの最大 CPU 時間 ⁵	10,000 ミリ秒	60,000 ミリ秒
Apex トランザクションごとの最大実行時間		10 分
参照される固有の名前空間の最大数 ⁶		10
Apex トランザクションごとに許容される転送通知メソッドコールの最大数		10
各転送通知メソッドコールで送信できる転送通知の最大数		2,000

¹ 親-子リレーションのサブクエリを使用する SOQL クエリでは、各親-子リレーションは追加クエリとしてカウントされます。これらのクエリタイプには、最上位クエリ数の 3 倍に制限されています。これらのリレーションクエリの行数は、全体のコード実行の行数に加算されます。静的 SOQL ステートメントの他、次のメソッドへのコールは、要求内で発行された SOQL ステートメント数としてカウントされます。

- Database.countQuery
- Database.getQueryLocator
- Database.query

² 次のメソッドへのコールは、要求内で発行された DML クエリ数としてカウントされます。

- Approval.process
- Database.convertLead
- Database.emptyRecycleBin
- Database.rollback
- Database.setSavePoint
- delete と Database.delete
- insert と Database.insert
- merge および Database.merge
- undelete と Database.undelete

- `update` と `Database.update`
- `upsert` と `Database.upsert`
- `System.runAs`

³ `insert`、`update`、または `delete` ステートメントによってトリガを実行しない繰り返し Apex 処理は、1つのスタックを使用する1つの呼び出し内に存在します。それに対し、トリガを実行した繰り返し Apex では、コードを実行した呼び出しとは別の新しい Apex 呼び出しでトリガが発生します。Apex の新しい呼び出しの実行は、1つの呼び出しでの繰り返しコールよりも手間のかかる操作であるため、これらの種類の繰り返しコールのスタックの深さには、より厳しいトリガ制限があります。

⁴ メールサービスのヒープサイズは 36 MB です。

⁵ CPU 時間は、1つの Apex トランザクションで発生する Salesforce アプリケーションサーバ上でのすべての実行 (Apex コードや、このコードからコールされるすべてのプロセス (パッケージコードやワークフローなど) の実行) に対して計算されます。CPU 時間は、1つのトランザクション専用であり、他のトランザクションからは独立しています。アプリケーションサーバの CPU 時間を消費しない操作は、CPU 時間には加算されません。たとえば、実行時間のうち DML、SOQL、および SOSL 用のデータベースに費やされた時間や、Apex コールアウトの待ち時間はカウントされません。

⁶ 1つのトランザクションでは、10個の一意の名前空間のみを参照できます。たとえば、オブジェクトを更新するときに、管理パッケージでクラスを実行するオブジェクトがあるとして。その後、クラスは2番目のオブジェクトを更新します。つまり、他のパッケージの他のクラスを実行します。最初に2番目のパッケージに直接アクセスしない場合でも、同じトランザクション内で発生するため、1つのトランザクションでアクセスする名前空間の数に含まれます。



メモ:

- 制限は、各 `testMethod` に対して個別に適用されます。
- 実行中にコードのコード実行制限を決定するには、`Limits` メソッドを使用します。たとえば、プログラムによってすでにコールされた DML ステートメント数を決定するには、`getDMLStatements` メソッドを使用できます。または、コードに使用できる DML ステートメントの合計数を決定するには、`getLimitDMLStatements` メソッドを使用できます。

トランザクション単位の認定管理パッケージの制限

認定管理パッケージ (AppExchange のセキュリティレビューに合格した管理パッケージ) には、一部の制限を除き、トランザクション単位の制限に対して独自の制限セットが設けられます。認定管理パッケージは Salesforce ISV パートナーによって開発され、Force.com AppExchange から組織にインストールされ、固有の名前空間を持ちます。

ここでは、DML ステートメントについて、認定管理パッケージに別個に設定される制限の例を説明します。認定管理パッケージをインストールすると、そのパッケージ内のすべての Apex コードには、組織のネイティブコードが実行できる 150 個の DML ステートメントに加え、独自に 150 個の DML ステートメントの制限が設定されます。つまり、管理パッケージのコードとネイティブの組織のコードの両方が実行されると、1つのトランザクションで 150 個を超える DML ステートメントが実行される可能性があります。同様に、同期 Apex については、認定管理パッケージには組織のネイティブコードの 100 個の SOQL クエリ制限に加え、独自に 100 個の SOQL クエリ制限が設定されます。他の制限についても同様です。

認定管理パッケージでは、次を除くすべてのトランザクション単位の制限は個別にカウントされます。

- ヒープの合計サイズ
- 最大 CPU 時間
- 最大トランザクション実行時間
- 一意の名前空間の最大数

これらの制限は、同じトランザクションで実行されている認定管理パッケージの数に関係なく、トランザクション全体に対してカウントされます。

また、Salesforce ISV パートナー以外が作成した未認定の AppExchange からパッケージをインストールする場合、そのパッケージのコードには、別個に独自のガバナ制限数はありません。使用するリソースは、組織の合計数に含まれます。累積リソースメッセージと警告メールも、管理パッケージの名前空間に基づいて生成されます。

Salesforce ISV パートナーパッケージの詳細は、「[Salesforce パートナープログラム](#)」を参照してください。

Force.com プラットフォームの Apex 制限

次の表の制限は、Apex トランザクションに固有ではなく、Force.com プラットフォームによって適用されます。

説明	制限
24時間あたりの非同期 Apex メソッド実行 (Apex 一括処理、future メソッド、キュー可能 Apex、およびスケジュール済み Apex) の最大数 ¹	250,000 か、組織内のユーザーライセンス数より 200 の大きい方の値
組織ごとの、5 秒以上かかる長時間の要求に対する同期同時要求数。 ²	10
同時にスケジュールされる Apex クラスの最大数	100
Apex Flex キューに入っている Holding 状況の Apex 一括処理ジョブの最大数	100
同時にキューに入っているか有効な Apex 一括処理ジョブの最大数 ³	5
Apex 一括処理ジョブの start メソッドの最大同時実行数 ⁴	1
1 つのテストの実行で送信可能な一括処理ジョブの最大数	5
24 時間あたりのキュー可能なテストクラスの最大数 (Developer Edition 以外の本番組織) ⁵	500 または組織のテストクラス数の 10 倍の大きいほう
24 時間あたりのキュー可能なテストクラスの最大数 (Sandbox 組織および Developer Edition 組織) ⁵	500 または組織のテストクラス数の 20 倍の大きいほう
ユーザごとに同時に開くクエリカーソルの最大数 ⁶	50
Apex 一括処理の start メソッドでユーザごとに同時に開くクエリカーソルの最大数	15
Apex 一括処理の execute および finish メソッドでユーザごとに同時に開くクエリカーソルの最大数	5

¹ Apex一括処理の場合、メソッド実行には、start、execute、および finish メソッドの実行が含まれます。これは組織全体の制限で、他のすべての非同期Apex (Apex一括処理、キュー可能Apex、スケジュール済みApex、および future メソッド) と共有されます。この制限のカウント対象となるライセンスは、Salesforce フルユーザーライセンスまたは Force.com アプリケーションサブスクリプションのユーザーライセンスです。Chatter Free、Chatter カスタマーユーザ、カスタマーポータルユーザ、およびパートナーポータルユーザーライセンスは含まれません。

² 10 個の長時間の要求が実行されている間に追加の要求を行うと、要求は拒否されます。

³ 一括処理ジョブが送信されると、処理用にシステムキューに移動されるまで、Flex キューに保持されます。

⁴ キュー内のまだ開始されていない一括処理ジョブは、開始されるまで保持されます。なお、この制限により一括処理ジョブが失敗することはありません。また、複数のジョブが実行されている場合は、Apex の一括処理ジョブの execute メソッドが並行して実行されます。

⁵ この制限は、テストの非同期実行に適用されます。これには、開発者コンソールを含め、Salesforce ユーザーインターフェースから開始するテストが含まれます。

⁶ たとえば、50 個のカーソルが開いていて、同じユーザとしてログインしたままのクライアントアプリケーションが新しいカーソルを開こうとすると、50 個のカーソルのうち最も古いカーソルが解放されます。異なる Force.com 機能のカーソル制限は個別に追跡されます。たとえば、50 個の Apex クエリカーソル、Apex 一括処理の start メソッドに 15 個のカーソル、Apex 一括処理の execute および finish メソッドにそれぞれ 5 個のカーソル、および 5 個の Visualforce カーソルを同時に開くことができます。

静的 Apex の制限

説明	制限
トランザクション内のコールアウト (HTTP 要求または Web サービスコール) のデフォルトのタイムアウト値	10 秒
コールアウト要求または応答 (HTTP 要求または Web サービスコール) の最大サイズ ¹	同期 Apex の場合は 6 MB、 非同期 Apex の場合は 12 MB
SOQL クエリの最大実行時間。この時間を超えると、Salesforce でトランザクションをキャンセルできます。	120 秒
Apex リリース内のクラスとトリガの最大コードユニット数	5,000
ループリストのバッチサイズ用	200
Database.QueryLocator の 1 回の Apex 一括処理クエリで返される最大レコード数	5000 万

¹ HTTP 要求のサイズおよび応答のサイズは、ヒープサイズの合計にカウントされます。

サイズ固有の Apex 制限

説明	制限
クラスの最大文字数	100 万
トリガの最大文字数	100 万
組織内のすべての Apex コードで使用されるコードの最大量 ¹	3 MB
メソッドのサイズ制限 ²	コンパイル形式で 65,535 バイトコード命令

¹ この制限は、AppExchange からインストールされた認定管理パッケージ (AppExchange Certified とマークされたアプリケーション) には適用されません。これらのパッケージタイプのコードは、組織のコードとは異なる独自の名前空間に属しています。AppExchange Certified パッケージについての詳細は、Force.com AppExchange オンラインヘルプを参照してください。この制限は、`@isTest` アノテーションで定義されたクラスに含まれるコードにも適用されません。

² 制限を超える大規模なメソッドはコードの実行中に例外が発生する場合があります。

その他の Apex の制限

SOQL クエリのパフォーマンス

最高のパフォーマンスを得るためには、特にトリガ内のクエリに対しては、セレクティブ SOQL クエリを使用する必要があります。実行時間が長くなるのを避けるために、システムはセレクティブ以外の SOQL クエリを終了できます。100,000 件を超えるレコードを含むオブジェクトに対してトリガでセレクティブではないクエリを使用すると、エラーメッセージが表示されます。このエラーを回避するには、必ずセレクティブクエリを使用します。「より効率的な SOQL クエリ」を参照してください。

Chatter in Apex

ConnectApi 名前空間内のクラスの場合、各書き込み操作が Apex ガバナ制限で 1 回の DML 操作としてカウントされます。ConnectApi メソッドコールも、レート制限の対象となります。ConnectApi レート制限は、Chatter REST API レート制限と同じです。どちらにも、ユーザごと、名前空間ごと、時間ごとのレート制限があります。レート制限を超えると、ConnectApi.RateLimitException が発生します。Apex コードで、この例外をキャッチして処理する必要があります。

イベントレポート

システム管理者以外のユーザの場合、イベントレポートが返すレコードの最大数は 20,000 件です。システム管理者の場合、100,000 件です。

Data.com クリーンアップ

Data.com クリーンアップ製品とその自動ジョブを使用していて、取引先、取引先責任者、またはリードレコードで実行する SOQL クエリの Apex トリガを設定している場合、それらのオブジェクトでクエリがクリーンアップジョブに干渉する可能性があります。Apex トリガ (合計) は、バッチあたり 200 個以下の SOQL クエリにしてください。この制限を超えると、そのオブジェクトに対するクリーンアップジョブが失敗します。また、トリガが future メソッドをコールする場合は、バッチあたり 10 個の future コールに制限されます。

転送通知の制限

Salesforce 組織に関連付けられた各モバイルアプリケーションで許容される転送通知の最大数は、アプリケーションの種別によって異なります。

許容される転送通知の最大数	制限
Salesforce によって提供されるモバイルアプリケーション (Salesforce1 など)	アプリケーションごとに 50,000 件/日の通知
社内の従業員が使用するために組織で開発されたモバイルアプリケーション	アプリケーションごとに 35,000 件/日の通知
AppExchange からインストールされたモバイルアプリケーション	アプリケーションごとに 5,000 件/日の通知

配信可能な通知のみがこの制限にカウントされます。たとえば、通知が会社の 1,000 名の従業員に送信されるが、100 名の従業員はまだモバイルアプリケーションをインストールしていない場合を考えます。モバイルアプリケーションをインストールしている 900 名の従業員に送信された通知のみがこの制限にカウントされます。

[転送通知をテスト] ページで生成された各テスト転送通知の受信者は 1 名に制限されています。テスト転送通知は、アプリケーションの 1 日の転送通知制限にカウントされます。

API の制限

使用可能なエディション: **Enterprise Edition**、**Performance Edition**、**Unlimited Edition**、**Developer Edition**、および **Database.com Edition**

以下に、同時および合計 API 要求数、Bulk API 操作、API カーソル数についての API 制限と、一部の API の制限について取り上げます。

API 要求の制限

同時 API 要求数の制限

次の表は、20 秒以上の同時要求 (コール) 数について、さまざまな種類の組織に対する制限を示しています。

組織種別	制限
Developer Edition	5
トライアルの組織	5
本番組織	25

組織種別	制限
Sandbox	25

API 要求数の合計に対する制限

次の表は、組織の 24 時間あたりの API 要求 (コール) 数の合計に関する制限について示しています。

Salesforce のエディション	ライセンスの種類ごとの API コール数	最小	最大
すべてのエディション:指定なし の Apex 用の API テストコー ルに対する DebuggingHeader。API バー ジョン 20 以降で有効。	なし	1,000	1,000
Developer Edition	なし	15,000	15,000
- Enterprise Edition - Professional Edition (API アク セス有効)	- Salesforce: 1,000 - Force.com Light App: 200 - Force.com Enterprise App: 200 - Salesforce プラットフォーム: 1,000 - Force.com - One App: 200  メモ: 新規ユーザは、このライセ ンスを使用できません。 - パートナーコミュニティ: 200 - Gold Partner: 200  メモ: 新規ユーザは、このライセ ンスを使用できません。	15,000	1,000,000
- Unlimited Edition - Performance Edition	- Salesforce: 5,000 - Force.com Light App: 200 - Force.com Enterprise App: 200 - Force.com App Bundle: 1,000 - Salesforce プラットフォーム: 5,000 - Force.com - One App: 200  メモ: 新規ユーザは、このライセ ンスを使用できません。 - パートナーコミュニティ: 200 - Gold Partner: 200	15,000	制限なし。ただ し、高い数値を 設定すると、シ ステム負荷など のその他の制限 要因によって、 24 時間すべての コール割り当て を使用できなく なる可能性が高 まります。

Salesforce のエディション	ライセンスの種類ごとの API コール数	最小	最大
 メモ: 新規ユーザは、このライセンスを使用できません。			
Sandbox	なし	なし	5,000,000

API 要求についての詳細は、[システムの概要] ページの [API 使用状況] ボックスを参照してください。

コール数の制限は、24 時間あたりに組織で行われた API コール数の集計に対して適用されます。この制限は、ユーザごとに適用されるものではありません。組織がこの制限を超過した場合、組織内のすべてのユーザが一時的にブロックされ、追加のコールを行うことができなくなります。直近 24 時間の使用状況が制限値内に収まるまで、コールはブロックされます。

Salesforce アプリケーションでは、システム管理者は [組織情報] ページで過去 24 時間に発行された API 要求数を参照できます。システム管理者は、[レポート] タブに移動し、[管理レポート] フォルダを選択して [過去 7 日間の API 使用状況] レポートをクリックすることによって、過去 7 日間の API の使用状況に関する詳細なレポートも参照できます。

 **メモ:** 制限はすべてのエディションに自動的に適用されます。

API にコールを送信するアクションはすべて、次の場合を除いて使用制限に数えられます。

- アウトバウンドメッセージ
- Apex 呼び出し

API 要求が指定した制限数の割合を超えた場合に、メールで指定ユーザに通知するように組織で設定できます。この設定は、[設定] から [監視] > [API 使用状況通知] をクリックして実行できます。

Chatter REST API の制限

制限によって、共有リソースが保護されます。これは、Chatter REST API のコンシューマの制限です。

Chatter REST API 要求はレート制限の対象になります。Chatter REST API には、他の Salesforce API とは異なるレート制限があります。Chatter REST API には、ユーザ、アプリケーション、および時間ごとのレート制限があります。レート制限を超過すると、すべての Chatter REST API リソースが 503 Service Unavailable エラーコードを返します。

Force.com のセッション ID を使用するアプリケーションの場合、レート制限はユーザごとおよび時間ごとになり、アプリケーションの個別のバケットはありません。セッション ID を使用してアクセスするすべてのアプリケーションでは、この一般割り当て数が使用されます。ユーザ、アプリケーション、時間ごとの制限を利用するには、OAuth トークンを使用します。

 **メモ:** すべての状況で指定されたリソースが規定の制限まで使用できるとは限りません。たとえば、負荷、パフォーマンスやその他のシステムの問題によってはその制限に達する前に使用できなくなる場合があります。規定の制限は、通知なく変更される場合があります。アプリケーションは、使用可能な要求を効率よく利用し、503 エラーコードを適切に処理する必要があります。

Bulk API の制限

Bulk API の制限	制限の説明
バッチの制限	24 時間内に送信可能なバッチ数は最大で 5,000 件に制限されています。作成後 24 時間を超えたジョブに新しいバッチを関連付けることはできません。
バッチの有効期限	作成後 7 日を超えたバッチやジョブは、ジョブの状況にかかわらずキューから削除されます。この有効期限は、ジョブに関連付けられた最も新しいバッチの作成日時によって判断されます。バッチが含まれていないジョブでは、ジョブの作成日時が基準になります。作成後 24 時間を超えたジョブに新しいバッチを関連付けることはできません。
バッチサイズ	- データ読み込みのバッチは 10 MB 以下の単一の CSV ファイルまたは XML ファイルで構成される必要があります。 1 つのバッチには、最大で 10,000 件のレコードを含めることができます。 1 つのバッチには、最大で 10,000,000 文字のデータを含めることができます。 1 つの項目には、最大で 32,000 文字を含めることができます。 1 つのレコードには、最大で 5,000 項目を含めることができます。 1 つのレコードに含まれる項目には、合計で最大 400,000 文字を含めることができます。 - バッチには何らかのコンテンツが必要です。バッチが空の場合はエラーが返されます。
バッチの処理時間	バッチの処理時間には、100 レコードにつき 5 分という制限があります。また、1 つのバッチの処理に 10 分以上かかる場合、Bulk API ではバッチの残りはキューに戻され、後で処理されます。その後の処理でも 10 分以内に完了できない場合、バッチがキューに戻され最大 10 回まで処理が試行されます。それでも完了できない場合は、バッチ処理が完全に失敗したとみなされます。
バイナリ型のコンテンツ	- ファイル名の最大長は 512 バイトです。 - zip ファイルの最大サイズは 10 MB です。 - コンテンツの最大合計サイズは、圧縮解除した状態で 20 MB です。 1 つの zip ファイルに含めることができるファイル数は最大で 1,000 ファイルです。ディレクトリはファイル数にはカウントされません。
一括クエリのクエリ試行回数	10 分ごとに 15 回、バッチを処理します。クエリの処理時間には 2 分という制限もあります。クエリの試行回数が 15 回を超えると、「Tried more than ten times (試行回数が 15 回を超えました)」というエラーメッセージが返さ

Bulk API の制限	制限の説明
	れます。クエリの処理時間が2分を超えると、QUERY_TIMEOUT エラーが返されます。
一括クエリの取得ファイル数	15 個。クエリで返されるファイルが 15 個を超える場合は、クエリを絞り込んで、返されるデータ量を減らす必要があります。一括バッチサイズは、一括クエリには使用されません。
一括クエリの結果の有効期限	7 日間。
一括クエリの取得ファイルサイズ	1 ギガバイト。
ジョブの Open 状態の時間	ジョブの状態が Open であるのは、作成後最大 24 時間までです。Bulk API では、バッチを毎時間に 1 つずつ、長時間にわたって追加するようなクライアントはサポートされません。

API クエリカーソルの制限

ユーザは一度に最大 10 個のクエリカーソルを開くことができます。同じユーザとしてログインしているクライアントアプリケーションが、新しい QueryLocator カーソルを開こうとしたときに、10 個のカーソルがすでに開かれていると、そのうち最も古いカーソルが解放されます。クライアントアプリケーションがリリースされたクエリカーソルを開こうとすると、エラーになります。

SOAP API コールの制限

API 名	API の制限	制限の説明
<code>create()</code>	最大作成レコード数	クライアントアプリケーションは、1 回の <code>create()</code> コールで最大 200 個のレコードを追加できます。create 要求が 200 オブジェクトを超えると、操作全体が失敗します。
<code>describeSObjects()</code>	返されるオブジェクトの最大数	<code>describeSObjects()</code> コールが返すことができるオブジェクトの最大数は 100 個です。
<code>emptyRecycleBin()</code>	ごみ箱内の最大レコード数	組織では、一度に 1 ライセンスあたり最大 5,000 件のレコードをごみ箱に入れることができます。たとえば、組織に 5 つのユーザライセンスがある場合、25,000 件のレコードをごみ箱に格納できます。組織のごみ箱が上限に達すると、Salesforce によって、ごみ箱に入れられてから 2 時間以上経過しているレコードが古い方から順に削除されます。

エディション

使用可能なエディション:
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、
Developer Edition、および
Database.com Edition

API 名	API の制限	制限の説明
<code>getDeleted()</code>	返されるレコードの制限	<code>getDeleted()</code> コールが 600,000 件を超えるレコードを返し、ユーザがシステム管理者の場合、<code>EXCEEDED_ID_LIMIT</code> 例外が返されます。 <code>getDeleted()</code> コールが 20,000 件を超えるレコードを返し、ユーザがシステム管理者ではない場合、<code>OPERATION_TOO_LARGE</code> 例外が返されます。ユーザが参照可能なデータだけでなく、組織全体で 20,000 件以上のレコードが削除された場合、このエラーが発生することにご注意ください。
<code>login()</code>	ログイン要求のサイズ制限	ログイン要求のサイズは、10 KB 未満に制限されています。
<code>login()</code>	1 時間あたりのユーザごとの最大コール数	<code>login()</code> は、1 時間につき 1 ユーザあたり最大 3600 コールに制限されています。この制限を超えると、「LoginRateExceeded (ログイン数の制限を超えました。)」エラーが表示されます。
<code>merge()</code>	マージ要求の制限	1 つの SOAP コール内に、最大 200 件のマージ要求を作成可能です。 - 親レコードを含めて、最大 3 つのレコードが 1 つの要求にマージ可能です。これは、Salesforce のユーザインターフェースと同じ制限です。マージするレコードが 3 つ以上ある場合は、エラー防止のために各要求内で同じ <code>masterRecord</code> を使用します。 - 外部 ID 項目では、<code>merge()</code> を使用することはできません。
<code>update()</code>	最大更新レコード数	クライアントアプリケーションは、1 回の <code>update()</code> コールで最大 200 レコードを変更できます。200 レコードを超える更新要求がある場合、操作全体が失敗します。
<code>query()</code> および <code>queryMore()</code>	バッチサイズ制限	WSC クライアントでバッチサイズを設定するには、接続オブジェクトに対して <code>setQueryOptions()</code> をコールします。C# クライアントアプリケーションでこの設定を変更するには、<code>query()</code> コールを呼び出す前に、<code>QueryOptions</code> コールで SOAP ヘッダー部分にバッチサイズを指定します。最大バッチサイズは 2,000 レコードです。ただし、この設定はあくまでも目安です。要求されるバッチサイズが、実際のバッチサイズになるとは限りません。パフォーマンスを最大化するために変更が行われます。 SOQL ステートメントがロングテキストタイプの 2 つ以上のカスタム項目を選んだ場合、バッチサイズは 200 未満になります。これは、大きな SOAP メッセージを防止するためです。

ストリーミング API の制限

制限によって、共有リソースが保護されます。これは、ストリーミング API の基本コンシューマを対象としたデフォルトの制限です。

説明	Performance Edition および Unlimited Edition	Enterprise Edition	他のすべてのエディション
組織あたりのトピック (PushTopic レコード) の最大数	100	50	40
トピックあたりのクライアント (登録者) の最大数	2000	1000	20
全トピックの同時クライアント (登録者) の最大数	2000	1000	20
1 日あたりのイベントの最大数 (24 時間)	1,000,000	200,000	50,000 (無料の組織の場合は 10,000)
接続中のソケットタイムアウト (CometD セッション)	110 秒	110 秒	110 秒
接続成功後の再接続までのタイムアウト (keepalive)	40 秒	40 秒	40 秒
PushTopic レコードの Query 項目での SOQL クエリの最大長	1300 文字	1300 文字	1300 文字
PushTopic 名の最大長	25 文字	25 文字	25 文字

汎用ストリーミングの制限

汎用ストリーミングには次の制限が適用されます。

説明	Performance Edition、Unlimited Edition、Enterprise Edition、および Professional Edition	Developer Edition
組織あたりの StreamingChannel の最大数	1000	200
1 日あたりのイベントの最大数 (24 時間)	100,000	10,000

汎用ストリーミングのクライアントの最大数と同時クライアントの最大数に対する制限は、PushTopic ストリーミングに使用される制限と同じです。

説明	Performance Edition および Unlimited Edition	Enterprise Edition	他のすべてのエディション
汎用ストリーミングチャンネルあたりのクライアント (登録者) の最大数	2000	1000	20
汎用ストリーミングチャンネル全体での同時クライアント (登録者) の最大数	2000	1000	20

メール制限

API または Apex を使用して、グリニッジ標準時 (GMT) に基づいて、1 日に最大 1,000 個の外部メールアドレスに単一メールを送信できます。Salesforce アプリケーションを使用して送信する単一メールはこの制限にカウントされません。取引先、取引先責任者、リード、商談、ケース、キャンペーン、カスタムオブジェクトの各ページから、組織の取引先責任者、リード、個人取引先、ユーザに個別のメールを送信する場合は、制限はありません。

単一メールを送信する場合は、次の点に注意してください。

- `SingleEmailMessage` ごとに 100 個までのメールを送信できます。
- `SingleEmailMessage` を使用して組織の内部ユーザにメールを送信するときに `setTargetObjectId` でユーザ ID を指定すると、メールが 1 日あたりの制限値にカウントされません。ただし、`setToAddresses` で内部ユーザのメールアドレスを指定すると、制限値にカウントされます。

グリニッジ標準時間 (GMT) に基づいて、1 組織あたり 1 日に合計 1,000 個の外部メールアドレスに一括メール送信できます。各一括メール送信に含むことのできる外部メールアドレスの最大数は、次のようにエディションに応じて異なります。

エディション	一括メール送信あたりの外部アドレス制限
Personal Edition、Contact Manager Edition、および Group Edition	一括メール送信は使用できません
Professional Edition	250
Enterprise Edition	500
Unlimited Edition と Performance Edition	1,000

 **メモ:** 次のメール制限に注意してください。

- 単一メールおよび一括メールの制限では、アドレスが一意であるかどうかは考慮されません。たとえば、メールに `johndoe@example.com` が 10 回含まれている場合、制限に対して 10 とカウントされます。
- ポータルユーザを含め、組織の内部ユーザに送信できるメールには制限はありません。

- Developer Edition 組織とトライアルで Salesforce を評価中の組織では、1 日あたり 10 個を超える外部メールアドレスに一括メール送信できません。この低い制限は、組織が Winter '12 リリースより前に作成されており、一括メール送信がすでに高い制限で有効になっている場合は適用されません。また、組織は 1 日あたり最大 15 個のメールアドレスに単一メールを送信できます。

メタデータの制限

使用可能なエディション: Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition、および Database.com Edition

メタデータのリリースと取得については、次の制限があります。これらの制限は、Force.com IDE、Force.com 移行ツール、およびメタデータ API に適用されます。

メタデータの制限	制限の説明
メタデータの取得とリリース	メタデータ API は、一度に最大 10,000 個のファイルまたは最大 400 MB をリリースおよび取得できます。 これらのいずれかの制限を超えると、リリースまたは取得に失敗します。
変更セット	受信および送信変更セットは、最大 10,000 ファイルのメタデータを持つことができます。

SOQL と SOSL の制限

使用可能なエディション: Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition、および Database.com Edition

機能	制限	制限の説明
SOQL ステートメント	SOQL ステートメントの最大長	デフォルトでは、SOQL ステートメントの長さは 20,000 文字を超えてはなりません。  メモ: 多数の数式項目を含むステートメントなど、長くて複雑な SOQL ステートメントでは、<code>QUERY_TOO_COMPLICATED</code> エラーが発生する場合があります。これは、元の SOQL ステートメントが上限の 20,000 文字未満であっても、Salesforce によって処理されるときにステートメントが内部展開されるために発生します。これを避けるには、SOQL ステートメントの複雑さを軽減します。

機能	制限	制限の説明
SOSL ステートメント	SOSL ステートメントの最大長	SOSL ステートメントの文字数制限は、組織で定義されている SOQL ステートメントの文字数の制限に関連付けられます。デフォルトでは、SOQL クエリおよび SOSL クエリは 20,000 文字を超えることはできません。
SOSL 検索クエリ文字列	SearchQuery 文字列の最大長	SearchQuery 文字列が 10,000 字を超えると、結果行は返されません。SearchQuery が 4,000 文字を超えると、論理演算子はすべて削除されます。たとえば、4,001 文字の SearchQuery を含むステートメント内の AND 演算子は、デフォルトの OR 演算子になるため、予想よりも多くの結果が返される場合があります。
SOSL クエリ結果	返される最大行数	クエリでカスタム制限を指定しない限り、合計 2,000 件の結果 (API バージョン 28.0 以降)。以前の API バージョンで返される結果は 200 件です。
リレーションクエリ	リレーションクエリの制限	1回のクエリに指定できる子-親リレーションは、35個以下です。カスタムオブジェクトには最大 25 個のリレーションが許可されているため、1回のクエリでカスタムオブジェクトのすべての子-親リレーションを参照できます。 1回のクエリに指定できる親-子リレーションは、20個以下です。 - 指定された各リレーションで、1つの子-親リレーションに指定できるレベルは 5 つ以下です。たとえば、Contact.Account.Owner.FirstName は 3 レベルです。 - 各指定リレーション内で、親-子リレーションの 1 つのレベルだけが 1 つのクエリ内で指定可能です。たとえば、FROM 句が Account を指定している場合、SELECT 句では Contact かそのレベルの他のオブジェクトのみを指定できます。Contact の子オブジェクトを指定することはできません。
FOR VIEW と FOR REFERENCE	許容される最大 RecentlyViewed レコード数	RecentlyViewed オブジェクトは、ログインユーザがレコードを表示または参照するたびに更新されます。また、SOQL クエリで FOR VIEW または FOR REFERENCE 句を使用してレコードを取得した場合にも更新されます。最新のデータを確実に使用できるようにするため、1 オブジェクトにつきレコードが 200 件までになるよう、RecentlyViewed データを定期的に切り捨てます。

機能	制限	制限の説明
OFFSET 句	OFFSET でスキップされる最大行数	最大オフセットは 2,000 行です。2,000 より大きいオフセットを要求すると NUMBER_OUTSIDE_VALID_RANGE エラーが発生します。

一部の Salesforce オブジェクトに固有の SOQL 制限とヒントは次のとおりです。

オブジェクト	説明
ContentDocumentLink	SOQL クエリの絞り込みでは、Id、ContentDocumentId、LinkedEntityId のいずれかを条件にする必要があります。
カスタムメタデータ型	カスタムメタデータ型は、次の SOQL クエリ構文をサポートします。 <pre>SELECT <i>fieldList</i> [...] FROM <i>objectType</i> [USING SCOPE <i>filterScope</i>] [WHERE <i>conditionExpression</i>] [ORDER BY <i>field</i> {ASC DESC} [NULLS {FIRST LAST}}]</pre> <i>fieldList</i> には、関係以外の項目のみを含めることができます。 - FROM には、オブジェクトを 1 つだけ含めることができます。 - WHERE では、EQUAL または IN のみ使用できます。 - ORDER BY では、項目を 1 つだけリストできます。 - 比較演算子には IN および = を使用できます。 - 論理演算子には AND を使用できます。
外部オブジェクト	- 外部オブジェクトが含まれるサブクエリが取得できるデータは、最大 1,000 行です。 - 各 SOQL クエリ内の結合は、外部オブジェクトとその他の種別のオブジェクト全体で最大 4 個です。 クエリの実行時、結合ごとに外部システムへの往復処理が必要です。クエリ内の各結合に対して長めの応答時間を想定してください。 - 外部オブジェクトでは、次の集計関数と句をサポートしていません。 - AVG () 関数 - COUNT (<i>fieldName</i>) 関数 (ただし、COUNT () はサポートされている) - HAVING 句 - GROUP BY 句 - MAX () 関数 - MIN () 関数 - SUM () 関数

オブジェクト

説明

- 外部オブジェクトでは、以下もサポートしていません。

- EXCLUDES 演算子
- FOR VIEW 句
- FOR REFERENCE 句
- INCLUDES 演算子
- LIKE 演算子
- toLabel() 関数
- TYPEOF 句
- WITH 句

次の制限は、Lightning Connect の OData 2.0 アダプタにのみ適用されます。

- 外部オブジェクトの場合、ORDER BY 句に次の制限があります。
 - NULLS FIRST と NULLS LAST は無視されます。
 - 外部オブジェクトは、リレーションクエリの ORDER BY 句をサポートしません。
- COUNT() 集計関数は、外部データソースで「要求の行数」が有効になっている外部オブジェクトでのみサポートされます。特に、外部システムからの応答には、結果セットの行の合計数を含める必要があります。

次の制限は、Lightning Connect のカスタムアダプタにのみ適用されます。

- 外部オブジェクトのロケーションベースの SOQL クエリはサポートされていません。
- 外部オブジェクトの SOQL クエリに次の要素が含まれている場合、クエリに失敗します。
 - convertCurrency() 関数
 - UPDATE TRACKING 句
 - UPDATE VIEWSTAT 句
 - USING SCOPE 句
- ORDER BY 句の次の構文は無視されます。
 - NULLS FIRST 構文
 - NULLS LAST 構文

NewsFeed

- ログインしたユーザに「すべてのデータの参照」権限がある場合、SOQL の制限はありません。この権限がない場合は、LIMIT 句に 1,000 レコード以下を指定してください。

オブジェクト	説明
	リレーションを使用する項目に対して SOQL ORDER BY は使用できません。SOQL クエリでは、ORDER BY はルートオブジェクトの項目に対して使用してください。
KnowledgeArticleVersion	- クエリで1つ以上の主キー ID を指定する場合を除き、必ず <code>PublishStatus</code> の値は1つだけ指定します。セキュリティをサポートするために、<code>PublishStatus</code> の値が <code>Draft</code> の記事は「記事の管理」権限を持つユーザにのみ表示されます。 - アーカイブ済み記事のバージョンは、<code>articletype_kav</code> オブジェクトに保存されます。アーカイブ済み記事のバージョンをクエリするには、記事の <code>Id</code> を指定し、<code>sLatestVersion='0'</code> を設定します。 - 必ず <code>Language</code> の値は1つだけ指定します。ただし、SOQL では、<code>Id</code> または <code>KnowledgeArticleId</code> に対する条件がある場合、複数の <code>Language</code> を指定できます。
RecentlyViewed	<code>RecentlyViewed</code> オブジェクトは、ログインユーザがレコードを表示または参照するたびに更新されます。また、SOQL クエリで <code>FOR VIEW</code> または <code>FOR REFERENCE</code> 句を使用してレコードを取得した場合にも更新されます。最新のデータを確実に使用できるようにするため、1オブジェクトにつきレコードが200件までになるよう、<code>RecentlyViewed</code> データを定期的に切り捨てます。
TopicAssignment	ログインしたユーザに「すべてのデータの参照」権限がある場合、SOQL の制限はありません。そうでない場合は、次のいずれかの操作を実行します。 <code>LIMIT</code> 句に 1,100 件以下のレコードを指定する。 「=」を指定した <code>WHERE</code> 句を使用する場合に、<code>Id</code> または <code>Entity</code> を絞り込む。
UserRecordAccess	- 必ず『SOAP API 開発者ガイド』で指定されたクエリ形式を使用してください。 <code>ORDER BY</code> 句を含めることができます。<code>SELECT HasAccess</code> の場合は <code>ORDER BY HasAccess</code>、<code>SELECT MaxAccessLevel</code> の場合は <code>ORDER BY MaxAccessLevel</code> を使用する必要があります。 - クエリ可能な最大レコード数は 200 件です。
UserProfileFeed	- ログインしたユーザに「すべてのデータの参照」権限がある場合、SOQL の制限はありません。この権限がない場合は、<code>LIMIT</code> 句に 1,000 レコード以下を指定してください。 - リレーションを使用する項目に対して SOQL ORDER BY は使用できません。SOQL クエリでは、ORDER BY はルートオブジェクトの項目に対して使用してください。

オブジェクト	説明
	また、SOQL クエリには <code>WITH UserId = {userId}</code> を含める必要があります。
Vote	• <code>ParentId</code> = [単一の ID] • <code>Parent.Type</code> = [単一型] • <code>Id</code> = [単一の ID] • <code>Id IN</code> = [ID のリスト]

Visualforce の制限

使用可能なエディション: **Contact Manager Edition**、**Group Edition**、**Professional Edition**、**Enterprise Edition**、**Performance Edition**、**Unlimited Edition**、および **Developer Edition**

制限	値
Visualforce ページの最大応答サイズ	15 MB 未満
Visualforce ページの最大ビューステートサイズ	135 KB
Visualforce メールテンプレートの最大サイズ	1 MB
Visualforce ページを使用したファイルアップロードの最大ファイルサイズ	10 MB
Visualforce ページが PDF として表示される場合の、表示前の HTML 応答の最大サイズ	15 MB 未満
PDF として表示される Visualforce ページの最大 PDF ファイルサイズ	60 MB
PDF として表示される Visualforce ページに含まれる全画像の最大合計サイズ	30 MB
JavaScript リモートコールの最大応答サイズ	15 MB
JavaScript リモートコールのデフォルトタイムアウト値	30,000 ミリ秒 (30 秒)
JavaScript リモートコールの最大タイムアウト値	120,000 ミリ秒 (120 秒)
1 つの Visualforce ページ要求のクエリによって取得される最大行数	50,000
参照のみモードで 1 つの Visualforce ページ要求のクエリによって取得される最大行数	100 万
<apex:pageBlockTable> や <apex:repeat> などの反復コンポーネントで反復可能なコレクション項目の最大数	1,000

制限	値
参照のみモードで、 <code><apex:pageBlockTable></code> や <code><apex:repeat></code> などの反復コンポーネントで反復可能なコレクション項目の最大数	10,000
1 つの Visualforce ページに表示可能な最大項目セット数	50
StandardSetController で処理可能な最大レコード数	10,000